

上智大学大学院

応用データサイエンス学位プログラム（修士課程）公開セミナー
ー同窓会 継続学修企画ー



データを狙うハッカーたち

記者が追いつけた「サイバーセキュリティ」の世界

- ▶ 日程：2026年7月3日（金）19：00～20：30
- ▶ 場所：上智大学四谷キャンパス6号館2階 6-205室
- ▶ 対象者：ADS在校生、ADS修了生、上智大学生、教職員、一般の方々
ADSの学生・修了生以外の方で参加ご希望の方は、[Webサイト](#)より事前登録をお願いします。



講演概要

須藤 龍也 氏
日本経済新聞社 編集委員

日本を代表する企業が近年、相次ぎサイバー攻撃を受け、企業活動が全面的にストップするなど深刻な打撃を受けました。

裏で暗躍するのは、日夜コンピューターの前に座って組織への侵入を企てる「ハッカー」です。

ハッカーの大きな狙いは、組織のデータを盗み出すこと。データを売り捌き大金を得る犯罪集団もいれば、知的財産や機密情報が目的のサイバースパイもいます。マフィアや国家の影もちらつきます。

記者は十数年にわたり、ハッカーの動きを追いつけ、生々しい実態に触れてきました。その一端をお話します。

ープロフィールー

主にサイバーセキュリティー分野を担当する編集委員として、2024年10月に日本経済新聞社に入社。前職は朝日新聞社で、国内外のサイバー攻撃事案やハッカーの動向を10年以上にわたり追いつけた。LINEの情報が中国や韓国企業から無断でアクセスできる状態にあった問題をスクープし、2021年度の日本新聞協会賞を受賞。このほか三菱電機へのサイバー攻撃(2020年)、神奈川県庁のHDD流出・転売事件(2019年)などを特報した。エンジニア採用が振り出しという変わり種。